

三菱重工業株式会社（2021年グリーンボンド）

契約の種類： アニュアルレビュー

日付： 2023年3月29日

担当者：

Shigeru Ogawa, shigeru.ogawa@sustainalytics.com, (+81) 3 4520 2193

Yukie Osari, yukie.osari@sustainalytics.com, (+81) 3 4520 2192

はじめに

2021年9月、三菱重工業株式会社（以下、「三菱重工」）は、再生可能エネルギー／クリーンエネルギーに関連するプロジェクトへのファイナンスを目的とするグリーンボンドを発行しました（5年債150億円、以下「2021年グリーンボンド」）。その調達資金は、2022年3月31日時点で計2件の再生可能エネルギー／クリーンエネルギープロジェクトに充当されています。2023年3月、三菱重工は、2021年グリーンボンドを通して資金の充当を受けたプロジェクトが三菱重工業株式会社グリーンボンドフレームワーク（以下、「フレームワーク」）¹ で設定された資金使途のクライテリアやレポートの指標に合致しているかについての評価を、サステナリティクスに委託しました。

評価基準

サステナリティクスは、以下の要件について、2021年9月から2022年3月の間に調達資金の充当を受けたプロジェクトを評価しました。

1. フレームワークで設定された調達資金の使途及び適格クライテリアとの適合
2. フレームワークで設定された各資金使途クライテリアに対するインパクト指標に関する報告

充当を受けた調達資金の使途のカテゴリーに対する適格クライテリア及び関連するインパクト指標を表1に示します。

表1：調達資金の使途、適格クライテリア及びインパクト指標

調達資金の使途	適格クライテリア	インパクト指標
再生可能エネルギー／クリーンエネルギー事業	<p>三菱重工グループが取り組む以下の基準を満たす再生可能エネルギー／クリーンエネルギー事業に対する新規支出及びリファイナンス（研究開発資金、事業開発・事業運営資金、運転資金等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 水素発電の場合、100%水素発電に向けた事業・プロジェクトであること（但し、水素発電の設備に係る研究開発への充当は予定していない） ▪ 地熱発電の場合、CO₂排出量が100g CO₂/kWh以下であること ▪ 法人への出資の場合、当該法人が再生可能エネルギー／クリーンエネルギー事業専業又は売上の90%以上を再生可能エネルギー／クリーンエネルギー関連で占めていること ▪ 事業・プロジェクトへの支出の内、設備投資費等（CAPEX）については関連するグリーンボンドの発行日から遡って7年以内に、運営費（OPEX）については関連するグリーンボンドの発行日から遡って3年以内に実施されたものであること 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 対象事業に関連する再生可能エネルギー／クリーンエネルギー施設の年間発電量（MWh）、年間CO₂削減量（トン） ▪ 研究開発の進捗状況に関する情報（参加プロジェクトの概要等）

¹ 三菱重工業株式会社グリーンボンドフレームワークは、こちらよりご覧頂けます：
<https://www.mhi.com/ip/finance/stock/esg/greenbond/framework.html>

発行体の責任

三菱重工は、プロジェクトの概要説明、充当額、プロジェクトによるインパクトを含め、調達資金の充当を受けたプロジェクトの詳細に関する正確な情報及び文書を提供する責任を負います。

独立性と品質管理

投資家に ESG とコーポレート・ガバナンスに関する調査・格付けを提供するプロバイダとして業界を牽引するサステナリティクスは、三菱重工の 2021 年グリーンボンドによる調達資金の使途を検証しました。本契約の一環として、同社のフレームワークとの適合性の確認のため、三菱重工の従業員からの文書の収集及び確認を行いました。

サステナリティクスは、調査にあたって、適格カテゴリー内の対象プロジェクトに関して三菱重工から提示された情報と事実に依拠しています。三菱重工が不正確又は不完全なデータを提供したことにより、本文書で示した見解、調査結果、結論が正確性を欠く場合、サステナリティクスはいかなる責任も負いません。

サステナリティクスは、評価プロセスにおいて最高の品質と厳密さを確保するためにあらゆる努力をし、審査結果の評価にあたっては社内サステナビリティ・ボンド・レビュー委員会（Sustainability Bonds Review Committee）が監督を行いました。

結論

限定的保証プロセスに基づき検討した結果²、すべての重要な側面において、三菱重工業株式会社の 2021 年グリーンボンドによる調達資金の充当を受けたプロジェクトが、三菱重工業株式会社グリーンボンドフレームワークで規定された資金使途及びレポーティングクライテリアに適合しないと判断すべき事実は認められませんでした。三菱重工は、サステナリティクスに対し、2021 年グリーンボンドの調達資金が 2022 年 3 月 31 日時点で全額充当されていたことを開示しました。

調査結果の詳細

表 2：調査結果の詳細

評価基準	調査手順	調査結果	特定された過失または例外
資金使途 クライテリア	2021 年 9 月から 2022 年 3 月の間に、2021 年グリーンボンドの調達資金が充当されたプロジェクトを対象に、フレームワーク及び上の表 1 に示されている資金使途クライテリアとの適合性を検証。	審査したプロジェクトは資金使途クライテリアに適合していました。	該当なし
レポーティング クライテリア	2021 年 9 月から 2022 年 3 月の間に、2021 年グリーンボンドの調達資金が充当されたプロジェクトを対象に、プロジェクトによるインパクトがフレームワーク及び上の表 1 に示されているインパクト指標と適合する形で報告されたかを検証。	審査したプロジェクトにおいて、フレームワークで設定された各資金使途クライテリアに対するインパクト指標が報告されていました。	該当なし

² サステナリティクスの限定保証プロセスには、発行体の提供する、調達資金の充当を受けているプロジェクトの詳細に関する文書（プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトなど）の調査が含まれます。発行体には正確な情報を提供する責任があります。サステナリティクスはプロジェクトの現地調査は実施していません。

参考資料

参考資料 1：グリーンボンドの調達資金の充当状況

調達資金の使途の カテゴリー	サブ カテゴリー	プロジェクト概要	調達資金の 充当額 (百万円)
再生可能エネルギー/ クリーンエネルギー事業	風力発電	<ul style="list-style-type: none"> 三菱重工が出資・保有する洋上風力発電設備専門法人であるMHI Vestas Offshore Wind A/S (「MVOW」)³の全株式のVestas Wind Systems A/S (「Vestas社」)への譲渡及びVestas社株式取得に関するリファイナンス 	13,931
	水素発電	<ul style="list-style-type: none"> 水電解装置会社であるHydrogenPro ASへの出資に対するリファイナンス 	1,000
調達資金の充当額合計：			14,931
調達資金の未充当額合計：			0
グリーンボンド発行による調達資金の手取り額合計⁴：			14,931

参考資料 2：プロジェクトのインパクト一覧⁵

再生可能エネルギー事業（風力発電）

調達資金の使途の カテゴリー	インパクト指標 ⁶		
	年度 ^{7 8}	年間発電量 (MWh)	年間 CO ₂ 削減量 (万トン)
再生可能エネルギー事業 (風力発電)	2016	981,602	49
	2017	3,176,087	160
	2018	5,499,659	277
	2019	7,610,776	384
	2020	9,772,989	493
	2021 ⁹	55,819,561	2,813

³ 三菱重工と Vestas 社との合弁会社

⁴ グリーンボンド発行額 150 億円から発行費用を除いた金額

⁵ 三菱重工によるインパクトレポートは、こちらよりご覧頂けます：<https://www.mhi.com/jp/finance/stock/esg/greenbond>

⁶ 当該インパクトは、MVOW が 2014 年度に三菱重工より出資を受け、風力発電設備の開発・設計・製造を完了した後、稼働が想定される 2016 年度以降の理論値です。

⁷ 各年度の対象期間は、4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までです。

⁸ 2020 年度までは MVOW での数値。

⁹ 2021 年度は、MVOW が Vestas 社の 100%子会社になったことに伴い、Vestas 社全体での数値を報告。

クリーンエネルギー事業（水素発電）

調達資金の用途の カテゴリー	インパクト指標
再生可能エネルギー／ クリーンエネルギー事 業	<ul style="list-style-type: none">▪ 水の電気分解で水素を製造する水電解装置の開発・生産を手掛けるノルウェーのHydrogenPro ASIに出資▪ HydrogenPro ASIは、西部アメリカの系統において、水電解質装置を導入中です。同プロジェクト完成時には、HydrogenPro ASIの220 MWアルカリ電気分解システムの使用により、水素製造能力は100トン／日に到達する計画です¹⁰。

¹⁰ Hydrogen Pro (2022), “\$504 million loan guarantee granted world’s largest renewable hydrogen energy project” (English Only), at: <https://hydrogen-pro.com/2022/06/30/504-million-loan-guarantee-granted-worlds-largest-renewable-hydrogen-energy-project/>

免責事項

© Sustainalytics 2023 無断複写・複製・転載を禁ず

本書に包含又は反映されている情報、手法及び意見は、サステナリティクス及び／又はその第三者供給者の所有物（以下、「第三者データ」）であり、サステナリティクスが開示した形式及びフォーマットによる場合又は適切な引用及び表示が確保される場合のみ第三者へ提供されます。これらは、情報提供のみを目的として提供されており、（1）製品又はプロジェクトの保証となるものではなく、（2）投資助言、財務助言又は目論見書となるものではなく、（3）有価証券の売買、プロジェクトの選択又は何らかの種類の商取引の実施の提案又は表示と解釈してはならず、（4）発行体の財務業績、金融債務又は信用力の評価を表明するものではなく、（5）いかなる募集開示にも組み込まれておらず、組み込んではありません。

これらは、発行体から提供された情報に基づいたものですので、これらの商品性、完全性、正確性、最新性又は特定目的適合性は保証されていません。情報及びデータは、現状有姿にて提供されており、それらの作成及び公表日時点のサステナリティクスの意見を反映しています。サステナリティクスは、法律に明示的に要求されている場合を除き、いかなる方法であっても、本書に含まれた情報、データ又は意見の使用に起因する損害について一切責任を負いません。第三者の名称又は第三者データへの言及は、かかる第三者に所有権があることを適切に表示するためのものであり、その後援又は推奨を意味するものではありません。当社の第三者データ提供者のリスト及びこれら各者の利用規約は、当社のウェブサイトに掲載されています。詳しくは、<http://www.sustainalytics.com/legal-disclaimers> をご参照ください。

発行体は、自らが確約した内容の確実な遵守とその証明、履行及び監視について全責任を負います。

日本語版と翻訳版との間に矛盾もしくは不一致が生じた場合は日本語版が優先されるものとします。

サステナリティクス（モーニングスター・カンパニー）

サステナリティクスは、モーニングスター・カンパニーであり、環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査、評価及び分析を行う独立系機関であり、責任投資（RI）戦略の策定と実施について世界中の投資家をサポートしています。30年以上の間、グローバルな投資家の進化するニーズに応える高品質かつ先進的なソリューションを提供し続けています。その上で、ESG及びコーポレート・ガバナンスに関する情報及び評価を投資プロセスに組み込んでいる、数百に及ぶ世界の主要な資産運用会社や年金基金を支援しています。また、サステナリティクスは、数百に及ぶ企業や金融仲介者と協働してサステナビリティに関連する方針、実務、資金調達を検討を支援しています。サステナリティクスは、世界17カ所にオフィスを構え、40以上の産業グループにまたがる様々な分野の専門知識を持つ500人以上のアナリストを含む、1,500人以上のスタッフを擁しています。

詳しくは、www.sustainalytics.com をご参照ください。

又は、contact@sustainalytics.com にご連絡ください。

